

「宿坊ファンド」登場

訪日客に人気 富裕層などにも

お寺や神社の宿泊施設である宿坊に投資するファンドが登場した。ジャ

建設・運営する仕組みを立ち上げた。

スダック上場で、不動産ファンドを組成する燦キャピタルマネージメントが全国寺社観光協会と組み、不動産投資に関心のある富裕層や機関投資家から集めた資金で宿坊を

宿坊は隣接する寺社で茶道や写経、精進料理などを体験できる。最近は一異文化体験に関心を持つ訪日外国人に人気があり、寺社側も建設に意欲的だが十分な資金調達が難しかった。

燦キャピタルは全国寺社観光協会と共同出資で今月、大阪市天王寺区に点在する寺社のための宿坊を建設する特別目的会社（SPC）を立ち上げた。SPCがファンドとして投資家から資金を募る。ファンドの規模は5億～10億円の想定で、2